

令和5年3月6日	資料2
第11回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会	

第2回介護DBオープンデータについて（案）

厚生労働省老健局老人保健課

目次

1. 介護総合DBオープンデータ作成の背景と目的
2. 第1回介護総合DBオープンデータの内容
3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）
 1. 集計対象
 2. 公表形式
 3. 集計対象のテーブル
 4. 登録情報の集計項目
 5. 登録状況の集計イメージ
 6. LIFE関連加算の算定率
 7. 詳細集計の集計項目
 8. 平均内服薬数の集計イメージ
 9. 今後の方向性
4. 今後のスケジュール

1. 介護保険総合DB（介護DB）オープンデータ作成の背景と目的

令和4年3月23日

第7回匿名介護情報等の提供に
関する専門委員会

資料2
一部改変

1. 作成の背景

- ◆ 介護DBには、悉皆性が高い匿名介護レセプト情報及び認定調査項目等の詳細なデータである匿名要介護認定情報等が含まれており、介護等分野の研究開発を行ううえで有用である。平成28年12月に、介護保険部会において、データベースをより有効活用するため、NDBと同様に、公益性が高い利用目的の場合には第三者への提供を可能とすることが適当であるとされ、平成30年11月より、高いレベルのセキュリティ要件を課したうえで、データ提供を行ってきた。
- ◆ NDBにおいては、多くの人々がNDBデータに基づいた知見に接することができるよう、NDBデータから汎用性の高い基礎的な集計表を作成し、「NDBオープンデータ」として、これまでに6回公表している。
- ◆ 介護DBに関しては、介護サービスの提供実態に係るデータについては介護給付費等実態統計としてe-Stat等で公表されているものの、要介護認定の結果等に係るデータは公表されておらず、NDBと同様、オープンデータとして公表する意義は大きい。

2. 作成の目的

- ◆ 多くの人々が介護DBデータに基づいた知見に接することが出来るよう、介護DBデータを用いて、「介護給付費等実態統計では公表されていない内容」という観点で基礎的な集計表を作成したうえで、公表する。
- ◆ 介護DBデータに基づき、介護サービスの提供実態や要介護認定情報等のデータをわかりやすく示す。

3. 第1回オープンデータの報告と今後の予定

- ◆ 2023年1月に第1回オープンデータを公表した。今後は1年に1回程度を目安に集計表を拡充して公表する。
- ◆ 一般からの意見も受け付けているが、現時点では届いていない。

厚生労働省：介護DBオープンデータ、

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/nintei/index_00009.html

2. 第1回介護総合DBオープンデータの内容

令和4年9月16日

第9回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会

資料1

1. 集計対象・項目等

◆ 公表データ:匿名要介護認定情報

- ①主要項目の集計結果
- ②匿名介護レセプト等情報との突合率
- ③前回と今回の二次判定結果とのクロス集計結果

◆それぞれの対象期間、公表項目、集計事項

	①主要項目の集計結果	②匿名介護レセプト等情報との突合率	③前回と今回の二次判定結果とのクロス集計結果
対象期間	2018年度、2019年度*		
公表項目	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な項目 (申請区分、一次判定結果、二次判定結果、基準時間 等) ・認定調査項目(74項目) ・障害高齢者自立度 ・認知症高齢者自立度 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当年度全体の突合率 (項目別の集計はしない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の申請区分 ・今回の二次判定結果 ・前回の二次判定結果
集計事項	延べ申請件数(延べ人数) 又は 申請者数(実人数) ※実人数は新規申請のみ実施	介護サービス利用者割合 (匿名介護レセプト等情報との突合率)	延べ申請件数(延べ人数) 及び 申請者数(実人数) ※実人数に区分変更等含む

*「②匿名介護レセプト等情報との突合率」については、匿名要介護認定情報に対して突合させる匿名介護レセプト等情報の範囲は、認定有効期間に含まれる範囲。匿名要介護認定情報のレコードごとに認定有効期間が異なる。

「③前回と今回の二次判定結果とのクロス集計結果」については、前回の匿名要介護認定情報の範囲は、介護DBに含まれるうち最も古い時点(2009年4月)から最新時点までの範囲。認定有効なレコードの中で、個人別・認定申請日別に並び替えた際に、集計対象の匿名要介護認定情報の1つ前のレコードを個人別に集計対象の個票に突合させる。

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：集計対象

1. 集計対象・項目等

- ◆ 公表データ：①匿名要介護認定情報 ②匿名LIFE情報
- ◆ 匿名LIFE情報を公表する目的：
 - ・ 匿名LIFE情報の登録情報を明らかにする。
 - ・ 利用者の状態、ケアの内容に関する主なデータの入力状況を把握する。
- ◆ ①、②の対象期間、公表項目、集計事項

	①匿名要介護認定情報	②匿名LIFE情報
対象期間	2020年度、2021年度 (時点の判定項目:「認定申請日」)	2021年度 (時点の判定項目:「初回確定日」)
公表項目	・2018年度・2019年度と同様の項目 ・基礎的な項目、認定調査項目 ・障害高齢者自立度、認知症高齢者自立度 ・匿名介護レセプト情報との突合率 ・前回と今回との二次判定結果のクロス集計	・LIFE関連加算ごとのサービス事業別算定状況 ・科学的介護推進体制加算に関連する項目のうち、基礎的な項目・主要項目 (フィードバック票の項目より選定予定※)
集計事項	・2018年度・2019年度と同様の集計事項 ・延べ申請件数 または 実申請者数 ・介護サービス利用者割合 (匿名介護レセプト情報との突合率)	・延べレコード数 ・実事業所数(サービス別・様式別) ・実利用者数(サービス別・様式別) ・平均内服薬数 (LIFEのフィードバック票の定義に準じて集計を実施) ・LIFE関連加算の算定率 (介護レセプト情報のみを用いて集計)

(※) LIFE関連加算で必須となっている項目のうち事業所と利用者へのフィードバック項目から集計対象を選定予定。

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：（参考）LIFE関連加算

- ◆ 施設系サービスと通所系・居宅系サービスでは加算の名称が異なるが、データ項目が同じ加算については同様の名称で集計を行う。

加算の種類	科学的介護推進加算 (Ⅰ)(Ⅱ)	個別機能訓練加算 (Ⅱ)	ADL維持等加算 (Ⅰ)(Ⅱ)	リハビリテーション マネジメント 計画書情報加算	リハビリテーション マネジメント加算 (A)ロ(B)ロ	理学療法、 作業療法 及び言語 聴覚療法 に係る加算	褥瘡マネジ メント加算 (Ⅰ)(Ⅱ)	褥瘡対 策指 導管 理 (Ⅱ)	排せつ支 援 加算 (Ⅰ)(Ⅱ) (Ⅲ)	自立支 援 促進加 算	かかりつけ 医連携薬 剤調整加 算	薬剤管 理指導	栄養マネジ メント強化加算	栄養アセス メント 加算	口腔衛 生 管理加 算 (Ⅱ)
収集している情報	ADL 栄養の状 況 認知症の 状況 既往歴 処方薬 等	機能訓練 の目標 プログラ ムの内容 等	ADL	ADL、IADL、心身の機能、 リハビリテーションの目標 等			褥瘡の危険因子 褥瘡の状態 等		排尿・排便 の状況 おむつ使用 の状況 等	ADL 支援実 績 等	薬剤変更情報 等		身長、体重、低栄養リ スク、 食事摂取量、必要栄養 量 等		口腔の状 態 ケアの目 標 ケアの記 録等
介護老人福祉施設	○	○	○				○		○	○			○		○
地域密着型介護老人福祉施設	○	○	○				○		○	○			○		○
介護老人保健施設	○			○			○		○	○	○		○		○
介護医療院	○					○		○	○	○		○	○		○
通所介護	○	○	○											○	○
地域密着型通所介護	○	○	○											○	○
認知症対応型通所介護(予防含 む)	○	○	○(予防を 除く)											○	○
特定施設入居者生活介護(予防 含む)	○	○	○(予防を 除く)												
地域密着型特定施設入居者生 活介護	○	○	○												
認知症対応型共同生活介護(予 防を含む)	○														
小規模多機能型居宅介護(予防 含む)	○														
看護小規模多機能型居宅介護	○						○		○					○	○
通所リハビリテーション(予防含 む)	○				○(予防を除 く)									○	○
訪問リハビリテーション					○(予防を除 く)										

注) サービスごとに算定可能な加算が異なる。

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：公表形式

2. 公表形式

- ◆ 匿名要介護認定情報について、第1回目のオープンデータと同様に、年度別に「都道府県別」、「性・年齢階級別」、「要介護度別」及び「保険者別」の集計を行う。ただし、保険者別は最小集計単位の観点から、一部の項目に限定する。

集計事項一覧（匿名要介護認定情報） 第1回オープンデータと同様

明細 番号	表頭	表側				集計事項
		表1	表2	表3	表4	
		都道府 県	性・年 齢階級	要介護 度	保険者	
1	申請区分（申請時）コード	●	●	●	●	延べ申請件数
2	現在の状況	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
3	一次判定結果	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
4	一次判定結果（認知症加算）	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
5	二次判定結果	●	●	－	●	実申請者数（新規申請）
6	要介護認定等基準時間（12区分）	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）、平均要介護認定等基準時間
7	主治医意見書	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
8	第1群 身体機能・起居動作	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
9	第2群 生活機能	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
10	第3群 認知機能	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
11	第4群 精神・行動障害	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
12	第5群 社会生活への適応	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
13	その他 過去14日間にうけた特別な医療	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
14	障害高齢者自立度	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
15	認知症高齢者自立度	●	●	●	－	実申請者数（新規申請）
16	匿名介護レセプト情報との突合率	●	●	●	－	介護サービス利用者割合（突合率）（新規申請）
17	今回の申請区分（申請時）コード；前回の二次判定結果	－	－	●	－	延べ申請件数
18	今回の申請区分（申請時）コード；前回の二次判定結果	－	－	●	－	実申請者数

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：公表形式と公表物

2. 公表形式

- 匿名LIFE情報について、年度別に「都道府県別」、「性・年齢階級別」、「要介護度別」、「保険者別」及び「サービス種別」の集計を行う。ただし、保険者別は最小集計単位の観点から、一部の項目に限定する。薬品コードから利用者の服薬種類数を集計する。

集計事項一覧（匿名LIFE情報）（案）

明細番号	集計対象の項目（表頭）	属性情報（表側）						集計事項	
		表5 都道府県	表6 性・年齢階級	表7 要介護度	表8 保険者	表9 サービス種類	表10 市町村（事業所所在地）		
登録状況	1	LIFE関連加算の種類別の登録状況	△	●	△	△	●	-	延べレコード数
	2	LIFE関連加算の種類別の登録状況	△	-	-	△	●	-	実事業所数
	3	LIFE関連加算の種類別の登録状況	△	●	△	△	●	-	実利用者数
	4	LIFE関連加算の算定率	-	-	-	-	●	-	実事業所数，算定率
詳細集計	5	日常生活自立度（科学的介護推進情報）	-	-	-	-	●	-	実利用者数
	6	ADL（科学的介護推進情報）	-	-	-	-	●	-	実利用者数，Barthel index平均値
	7	栄養（科学的介護推進情報）	-	-	-	-	●	-	実利用者数，BMI平均値
	8	認知機能(DBD13)（科学的介護推進情報）	-	-	-	-	●	-	実利用者数，DBD13平均値
	9	意欲(Vitality index)（科学的介護推進情報）	-	-	-	-	●	-	実利用者数
	10	事業所ごとの利用者1人あたりの内服薬の平均種類数の分布状況（科学的介護推進情報（服薬情報））	-	-	-	-	●	●	事業所別の利用者1人あたり内服薬の平均種類数の最小値，最大値，平均値，標準偏差

注1) 要介護度は必ずしも全ての様式に含まれていないことから△としている。都道府県別や保険者別は件数が少ない懸念があり△としている。

注2) 明細番号4の集計表は介護レセプト情報を集計するため、登録状況には分類していない。

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：集計対象のテーブル

3. 集計対象のテーブル

第三者提供対象データのうち、加算に紐づく情報のうち入力が必要の情報を集計する。

集計対象のテーブル一覧（匿名LIFE情報）（案）

No.	インターフェース名	登録状況 集計対象	詳細集計 集計対象
1	利用者情報	-	-
2	科学的介護推進情報	●	●
3	科学的介護推進情報（既往歴情報）	●	-
4	科学的介護推進情報（服薬情報）	●	●
5	栄養・摂食嚥下情報	●	-
6	栄養ケア計画等情報	-	-
7	口腔衛生管理情報	●	-
8	口腔機能向上サービス管理情報	●	-
9	興味関心チェック情報	-	-
10	生活機能チェック情報	●	-
11	個別機能訓練計画情報	●	-
12	リハビリテーション計画書（医療介護共通部分）	●	-
13	リハビリテーション計画書（介護）	●	-
14	リハビリテーション会議録(様式3情報)	-	-
15	リハビリテーションマネジメントにおけるプロセス管理票(様式4情報)	-	-
16	生活行為向上リハビリテーション実施計画書(様式5情報)	-	-
17	褥瘡マネジメント情報	●	-
18	排せつ支援情報	●	-
19	自立支援促進情報	●	-
20	薬剤変更情報	●	-
21	薬剤変更情報(既往歴情報)	-	-
22	ADL維持等情報	●	-
23	その他情報	-	-

「-」は集計しないことを意味する。

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：登録状況の集計項目

4. 登録状況の集計項目

LIFE情報のテーブル毎に登録状況（レコード数、実事業所数、実利用者数）を集計する。異なる加算であっても、共通のテーブルにデータを格納されている場合があり、その場合は集計区分をまとめて表示する（例えば「褥瘡マネジメント加算」と「褥瘡対策指導管理」）。

登録情報（明細番号1～3）の集計対象の項目（匿名LIFE情報）（案）

集計する区分（表頭の上位階層）	集計対象のテーブル（表頭の下位階層）
総数	利用者情報
科学的介護推進加算（Ⅰ）（Ⅱ）	科学的介護推進情報
個別機能訓練加算（Ⅱ）	個別機能訓練計画情報
	生活機能チェック情報
A D L 維持等加算（Ⅰ）（Ⅱ）	ADL維持等情報
リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	リハビリテーション計画書（医療介護共通部分）
リハビリテーションマネジメント加算（A）ロ（B）ロ	リハビリテーション計画書（介護）
理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	
褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）（Ⅱ）	褥瘡マネジメント情報
褥瘡対策指導管理（Ⅱ）	
排せつ支援加算（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）	排せつ支援情報
自立支援促進加算	自立支援促進情報
かかりつけ医連携薬剤調整加算	薬剤変更情報
薬剤管理指導	
栄養マネジメント強化加算	栄養・摂食嚥下情報
栄養アセスメント加算	
口腔衛生管理加算（Ⅱ）	口腔衛生管理情報
口腔機能向上加算（Ⅱ）	口腔機能向上サービス管理情報

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：登録状況の集計イメージ

5. 登録状況の集計イメージ

登録状況の集計については、LIFE関連加算に関連するテーブル（表頭）と当該加算を算定可能なサービス（表側）との組み合わせに限定して集計する。

登録情報（表9-1～表9-3）の集計イメージ（案）

サービス種類コード	サービス名称	総数	科学的介護推進加算（Ⅰ）（Ⅱ）	科学的介護推進加算（Ⅱ）	個別機能訓練加算（Ⅱ）		ADL維持等加算（Ⅰ）（Ⅱ）	リハビリテーションマネジメント計画書情報加算 リハビリテーションマネジメント加算（A）ロ（B）ロ 理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）（Ⅱ） 褥瘡対策指導管理（Ⅱ）	排せつ支援加算（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）	自立支援促進加算	かかりつけ医連携薬剤調整加算 薬剤管理指導	栄養マネジメント強化加算 栄養・摂食嚥下 栄養アセスメント加算	口腔衛生管理加算（Ⅱ）	口腔機能向上加算（Ⅱ）	
		科学的介護推進情報	科学的介護推進情報（既往歴情報）	科学的介護推進情報（薬案情報）	個別機能訓練計画情報	生活機能チェック情報	ADL維持等情報	リハビリテーション計画書（医療介護共通部分）	リハビリテーション計画書（介護）	褥瘡マネジメント情報	排せつ支援情報	自立支援促進情報	薬剤変更情報	栄養・摂食嚥下情報	口腔衛生管理情報	口腔機能向上サービス管理情報
LIFE関連加算のあるサービス		10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000
51	介護老人福祉施設	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	10,000,000	10,000,000	-	10,000,000	10,000,000	-	-
54	地域密着型介護老人福祉施設	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	10,000,000	10,000,000	-	10,000,000	10,000,000	-	-
52	介護老人保健施設	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-
55	介護医療院	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-
15	通所介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	10,000,000	-	10,000,000	-
78	地域密着型通所介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	10,000,000	-	10,000,000	-
72	認知症対応型通所介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	10,000,000	-	10,000,000	-
33	特定施設入居者生活介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36	地域密着型特定施設入居者生活介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	認知症対応型共同生活介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
73	小規模多機能型居宅介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
77	看護小規模多機能型居宅介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	10,000,000	10,000,000	-	-	10,000,000	-	10,000,000	-
16	通所リハビリテーション	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	10,000,000	10,000,000	-	-	-	10,000,000	-	10,000,000	-
14	訪問リハビリテーション	10,000,000	-	-	-	-	-	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	-	-
74	介護予防認知症対応型通所介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	10,000,000	-	10,000,000	-
35	介護予防特定施設入居者生活介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	介護予防認知症対応型共同生活介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75	介護予防小規模多機能型居宅介護	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
66	介護予防通所リハビリテーション	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-	-	-	-	-	-	-	10,000,000	-	10,000,000	-

灰色は、入力が必要となっていない組み合わせを意味する。

拡大図は、参考資料を参照のこと。明細1～3は同じレイアウトで集計事項（レコード数、事業所数、利用者数）が異なる。

サービス種類は、LIFE関連加算が位置付けられているサービスに限定する。

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：LIFE関連加算の算定率

6. LIFE関連加算の算定率

サービス提供年月が2022年3月の介護レセプト情報を用いて、LIFE関連加算の算定率を集計する。各サービスの実事業所数（算定率の分母）とLIFE関連加算を算定している実事業所数（算定率の分子）を集計する。

LIFE加算の算定率（表9-4）の集計イメージ（案）

サービス 種類 コード	サービス名称	実事業所数	総数 (LIFE関連 加算を算定 している事 業所の割 合)	科学的介護	科学的介護	個別機能訓	A DL維持	A DL維持	リハビリ	リハビリ	リハビリ	理学療法、	褥瘡マネジ	褥瘡マネジ	褥瘡対策指	排せつ支援	排せつ支援	排せつ支援	自立支援促	かかりつけ	薬剤管理指	栄養マネジ	栄養アセス	口腔衛生管	口腔機能向	
				推進加算 (I)	推進加算 (II)	練加算 (II)	等加算 (I)	等加算 (II)	テーション マネジメン ト計画書情 報加算	テーション マネジメン ト加算 (A) ロ	テーション マネジメン ト加算 (B) ロ	作業療法及 び言語聴覚 療法に係る 加算	メント加算 (I)	メント加算 (II)	導管理 (II)	加算(I)	加算(II)	加算(III)	進加算	区連携薬剤 調整加算	導	メント強化 加算	メント加算 (II)	理加算 (II)	上加算 (II)	
LIFE関連加算のあるサービス		10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
51	介護老人福祉施設	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	30.0%	30.0%	-	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	30.0%	-	30.0%	-	-
54	地域密着型介護老人福祉施設	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	30.0%	30.0%	-	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	30.0%	-	30.0%	-	-
52	介護老人保健施設	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	30.0%	-	-	-	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	30.0%	-	-	30.0%	-	30.0%	-
55	介護医療院	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	30.0%	-	-	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	30.0%	30.0%	-	30.0%	-	-
15	通所介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0%	-	30.0%	-
78	地域密着型通所介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0%	-	30.0%	-
72	認知症対応型通所介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0%	-	30.0%	-
33	特定施設入居者生活介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36	地域密着型特定施設入居者生活介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	認知症対応型共同生活介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
73	小規模多機能型居宅介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
77	看護小規模多機能型居宅介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	30.0%	30.0%	-	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	30.0%	-	30.0%	-
16	通所リハビリテーション	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0%	-	30.0%	-
14	訪問リハビリテーション	10,000,000	30.0%	-	-	-	-	-	-	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
74	介護予防認知症対応型通所介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0%	-	30.0%	-
35	介護予防特定施設入居者生活介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	介護予防認知症対応型共同生活介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75	介護予防小規模多機能型居宅介護	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
66	介護予防通所リハビリテーション	10,000,000	30.0%	30.0%	30.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0%	-	30.0%	-

表頭は、LIFE関連加算。介護レセプト情報のみを用いて集計する。

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：詳細集計の集計項目

7. 詳細集計の集計項目

「科学的介護推進情報」について、現行のLIFEのフィードバック票（事業所（※1）・利用者（※2））に掲載され、入力必須となっている項目のうち、一部の項目に限定して、各コード別の該当者数、平均値等を集計する。

- 1人の利用者が複数の時点で登録されることが想定されるため、最新時点の情報を集計する。
- 数値データについては、平均値を集計する項目、カテゴリ化する項目を整理する。
- 当資料に掲載されている項目は検討段階にあり、オープンデータを公表する段階までに、公表する項目の絞り込みを実施予定である。

◆ 表9-5（日常生活自立度）

- 障害高齢者の日常生活自立度の該当者数
- 認知症高齢者の日常生活自立度の該当者数

◆ 表9-6（ADL）

- Barthel Index（合計）の平均値
- Barthel Indexの項目（「食事」が「一部介助」等）の該当者数

（※1）厚生労働省：科学的介護推進体制加算 事業所フィードバック票, <https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000949390.pdf>

（※2）厚生労働省：科学的介護推進体制加算 利用者フィードバック票, <https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/001015742.pdf>

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：詳細集計の集計項目

◆ 表9-7（栄養）

- BMIの平均値
- 血清アルブミン値（3.0g/dL未満、3.0～3.6g/dL未満、3.6g/dL以上）
- 食事摂取量（75%以下、75%超）
- 経腸栄養法の該当者数
- 低栄養状態のリスクレベル（低、中、高）の該当者数

◆ 表9-8（認知機能）

- 認知症診断の有無
- DBD13（合計）の平均値
- DBD13の項目（「日常的な物事に関心を示さない」が「よくある」等）の該当者数

◆ 表9-9（意欲）

- Vitality Index（意思疎通）（自分から挨拶する・話しかける、挨拶・呼びかけに対して返答や笑顔が見られる、反応がない）の該当者数

3. 第2回介護総合DBオープンデータについて（案）：平均内服薬数の集計イメージ

8. 平均内服薬数の集計イメージ

- ◆ 「科学的介護推進情報（服薬情報）」の「薬品コード」（医薬品コード）の種類数をカウントし、市町村（事業所所在地）別、並びにサービス種類コード別に、事業所数、事業所あたり平均利用者数、事業所あたりの利用者あたり平均内服薬数の平均・最小値・最大値を集計する。
- ◆ 服薬情報が必須となっているのは、科学的介護推進体制加算（Ⅱ）のみであるため、レセプト情報と紐づけることで、当該加算を算定した利用者に限定する。

平均内服薬数（表10-9）の集計イメージ（案）

市町村コード	市町村（事業所所在地）	事業所数	利用者数	利用者一人あたり平均内服薬数	平均「事業所あたり利用者数」	平均「事業所あたり利用者一人あたり平均内服薬数」	標準偏差「事業所あたり利用者一人あたり平均内服薬数」	最小「事業所あたり利用者一人あたり平均内服薬数」	最大「事業所あたり利用者一人あたり平均内服薬数」
XXXX XX	A市								
…	…								
XXXX XX	Z広域 連合								

注1)「剤形コード」=1（内服薬）に限定する。

注2) 剤形コードが空欄の場合と薬品コードが空欄の場合に除外される。

注3) 内服薬の種類数の計算方法は、LIFEの事業所フィードバック票の集計定義に準じて集計する。

9. 今後の対応の方向性

○匿名LIFE情報の集計仕様の検討

- 科学的介護推進体制加算以外の加算に関する詳細集計
- 複数テーブルに類似項目が分かれている場合の集計方法の検討、等

○匿名要介護情報の集計仕様について

- 集計時点の追加（最新データの追加、2017年度以前の追加）
- 要介護度の変化（区分変更の集計追加、要介護度が上下する場合の考慮）
 - 二軸で集計するオープンデータにおいて、要介護度の短期変化を追うことが難しい。
 - 一定期間内の最初と最後の要介護度の変化を見ることが限界と考えられる。

○公表対象データの追加検討（匿名LIFE情報、匿名介護レセプト等情報）

○集計単位の検討

- 保険者別に集計するデータ項目を追加。
- 二次医療圏別の集計追加の検討。

4. 今後のスケジュール

以下のスケジュールを進める

- 2023年6月 第12回専門委員会**
 - ・ 事務局より公表内容を提示
- 2023年11月頃 第2回介護DBオープンデータ公表**